

京丹後アートフェスティバル 2026(7/15現在)

会期 | 2026 年 9 月～2027 年 3 月

会場 | 大宮ふれあい工房ほか、京丹後市内各所

主催 | 京丹後市、京丹後市教育委員会

助成 | 文化庁 令和 8 年度文化芸術創造拠点形成事業

メインプログラム

●みるプログラム(鑑賞)

プログラムリーフレット

文化芸術に触れる機会が少ない層へも、プログラムの中身を知りたい、会場へ行ってみたいと、手に取ったひとの能動性を引き出すツールとして、また市内の文化芸術に関わる活動体を集約し一体的に広報を行うことで、ともに本市の文化芸術を盛り上げるネットワークづくりとしてのフェスティバルリーフレットを制作します。

発行日 | 8 月 25 日(火)

部数 | 22,000 部

配架先 | 市内全戸配布(19,000 部)、連携イベント会場、市内公共施設および飲食店等、京都市内の文化施設等

「Tango Creator's Exhibition Vol.2 川田知志」



作品(撮影:来田猛)

丹後ゆかりのアーティストを紹介する展覧会シリーズ第 2 弾。

京丹後市内にスタジオを構え、各地の展覧会やプロジェクトに参加し、近年その活躍がめざましいアーティスト川田知志を紹介します。川田氏は大学でフレスコ技法を学び、様々な公共空間で制作、発表をしてきました。都市近郊の均質化した景色をモチーフにしながら、移ろう現代社会を独自の視点で切り取り、それらを記憶する壁画を目指し、制作を続けています。

川田氏の制作スタイルは、恒久設置の依頼を受け制作する壁画と、美術館からテーマを与えられ一時的な展示作品として制作する壁画の、大きくわけて 2 種類あります。前者はその場所から動かすことができず、また後者はその場所に作品のまま残すことが叶いません。

そのため本展では、織物の技術と芸術表現を掛け合わせ新しい壁材のかたちについて行った研究

のプロセスと成果を発表します。

会期 | 10月30日(金)～12月28日(月)9:00～17:00 ※火曜～木曜休館

会場 | 大宮ふれあい工房 大研修室・展示室

アーティスト | 川田知志

1987年大阪府生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。近年の主な個展に「築土構木」(ザ・トライアングル、京都市京セラ美術館/京都/2024年)、「彼方からの手紙」(ARTCOURTGALLERY/大阪/2022年)、主なグループ展に「MOT アニュアル 2024 こうふくのしま」(東京都現代美術館/東京/2024年)、「ホモ・ファーベルの断片—一人とものづくりの未来—」(愛知県陶磁美術館/愛知/2022年)など。

主な受賞歴に、2019年「京都市芸術新人賞」、2025年「第43回京都府文化賞奨励賞」、「第2回絹谷幸二芸術賞大賞」を受賞。

関連イベント | 織センフェスティバル

「共同研究『100年先につむぐ、新たな織物と壁画のかたち』成果発表」

アーティストとともに共同研究を行ってきた技術者と、そのプロセスをふりかえります。

日程 | 11月1日(日)時間未定

会場 | 丹後・知恵のものづくりパーク

協力 | 京都府織物・機械金属振興センター

●知るプログラム(体験)

TANGO CULTIVATE～100年後の文化、100年後の丹後を考える～

文化とは、時間の経過とともに自然と受け継がれていくものでしょうか？

時代とともに変わりゆく生活様式、人口減少、若者の都心流出、それによる地域コミュニティの変化など、これまで当たり前のように渡せていたさまざまなバトンが、今や守り抜くことさえも難しくなっています。

丹後と言えば、コレ！と、全国的に認知されてきた「丹後ちりめんを代表する織物産業」、「健康長寿なまち」、「丹後王国にみる豊富な文化財」など、このまちの特徴を100年先へとつなぎ、さらなるまちの魅力、そしてまちの文化へと紡いでいくため、現代を生きるわたしたちにできることは何か、100年後の文化と、100年後の丹後について考えるレクチャーシリーズです。

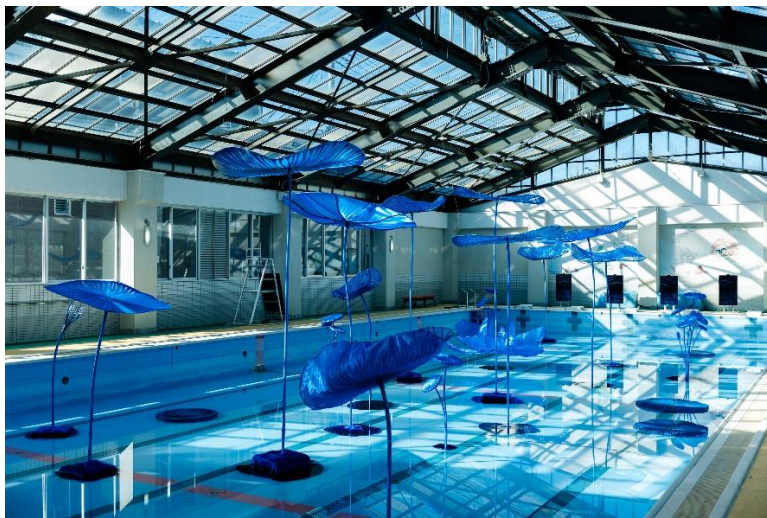
各地で、文化芸術と「地場産業」、「健康長寿」、「文化財」を絡め、魅力的な取り組みを行っているゲストを迎え、わたしのまち丹後ではどんな展開の可能性があるのか、そんなヒントを見つける新しいプログラムです。

第1回 地場産業×芸術祭「織物の魅力をアートで拡張する」

日程 | 10月31日(土) 14:30～15:45

会場 | TANGO OPEN CENTER

協力 | 丹後オープンファクトリー実行委員会



FUJI TEXTILE WEEK2025 柴田まお《Blue Lotus》



勝俣美香

高級織物「甲斐絹」の技術をルーツに持ち、ネクタイ生地生産量日本一を誇る織物のまち、山梨県富士吉田市。1000年以上の歴史を持つ織物産地としての文化を未来へつなぐため、地域の織物事業者とアーティストがコラボレーションし、多彩な作品を街中に展示する布の芸術祭「FUJI TEXTILE WEEK」や、織物の魅力と街並みを五感で楽しむ「ハタオリマチフェスティバル」など、移住者や若者を取り込み、内外からも魅了される民間との協働事業を仕掛けてきた勝俣美香氏を迎え、誕生のきっかけや現在に至るまでの過程をお聞きし、わたしたちのまちでの新たな展開の可能性を探ります。

ゲスト | 勝俣美香(山梨県富士吉田市役所 経済環境部 次長)

富士山課で11年間にわたり観光行政に携わり、「ハタオリマチフェスティバル」や「FUJI TEXTILE WEEK」の開催を通じて、繊維産地・富士吉田の魅力やものづくり文化の発信に取り組むとともに、キャッシュレス推進事業やナイトタイムエコノミーの推進を実施。近年は、防災道の駅「道の駅富士吉田」の整備やオーバーツーリズム対策など、地域資源を生かした観光施策を推進してきた。現在は経済環境部次長として、経済・観光分野を統括する業務に従事している。

聞き手 | 田中智子(京丹後市観光公社 本部長)

京丹後市出身。短大卒業後、学校講師、企業勤務を経て、2002年よりプラザホテル吉翠苑(現・KISSUIEN Stay&Food)の経営に関わる。2007年に市内の旅館業を営む女将が集い、まちの魅力やPRに取り組む「おかみさんの会」を設立。2015年より狛猫をモチーフにまちおこしを行う「こまねこまつり」を毎秋実施。地域の魅力を伝え、まちに賑わいを生むさまざまな活動を行っている。

第2回 認知症×演劇「老いを演じてみる」

日程 | 11月21日(土)14:00~16:00

会場 | 峰山地域公民館1階大会議室

定員 | 30名、事前予約制

協力 | 長寿福祉課



WSの様子(撮影:松原豊)



菅原直樹(撮影:富岡菜々子)

「老い」「ボケ」「死」を繋げた劇団 OiBokkeShi(オイボッケシ)の主宰し、俳優、介護福祉士としても活躍する菅原直樹氏が繰り広げてきた、認知症ケアに演劇的手法を用いた全国各地で人気のワークショップ。身体を使い、演じることで、認知症ケアの気づきやヒントを共有し、認知症のひとや他者とのコミュニケーションについて考えます。家庭や学校、地域など身近な場での他者理解は、ストレスを軽減させ、生きやすさへとつながります。演劇経験は不要、演じることを通じて、一緒に健康で長生きする心と身体へと導きましょう。

ゲスト | 菅原直樹(劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰) 四国学院大学非常勤講師、美作大学非常勤講師。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。2014年「老いと演劇」OiBokkeShiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。2016年より活動拠点を岡山県奈義町に移す。平成30年度(第69回)芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)受賞。

第3回 震災×メディア「まちの記憶を記録する」

日程 | 2027年3月を予定

ゲスト・会場・協力 | 調整中

北丹後地震から100年の節目を迎える今年度。災害によってわたしたちの生活や文化が失われてしまったとき、まず何から取り掛かればよいのでしょうか、それによって何が継承していけるのでしょうか。東日本大震災後で、アートやメディアを媒介としてアーカイブの仕組みづくりを行ってきたゲストを迎え、記憶を記録することについてあらためて考えます。

出張！アーティスト

アーティストやクリエイターがまちに飛び出し、地域の活動や、施設、イベントとコラボレーション。

みなさんの活動を惹き出し、表現をとおしてともに楽しむ、そんな体験プログラムです。

(全6回のワークショップを実施予定。うち3回は公募で出張先を決定する)

① ダンスワークショップ「すべては踊る」

身体を動かすと心や気持ちが前向きになるのはなぜ？年齢問わず、自分らしくいきいき活躍できる社会を目指し活動する女性団体と、コンテンポラリーダンスで身体と心のつながりを探ります。ダンス未経験者、性別問わずどなたでも参加できます。

日程 | 10月25日(日)13:30~15:00

会場 | 峰山総合福祉センター2階 コミュニティホール

講師 | 宮北裕美(アーティスト)

イリノイ大学芸術学部ダンス科卒業。舞台芸術の出演や振付を経て”立つ、歩く、座る”と言ったシンプルな動作、身の回りのモノや現象にダンスを見出し、即興パフォーマンスや視覚芸術の可能性を探る。2012年より丹後地域を拠点に活動している。

共催(予定) | 京都府女性の船「ステップあけぼの」京丹後支部、京丹後市連合市婦人会

協力 | 市民課

② 室内楽コンサートプレートーク「音が生まれるまでの長い道のり」

多種ある弦楽器の成り立ちや、楽器にまつわる不思議のあれこれなど、弦楽器製作者だからこそ知る、弦楽合奏の一期一会をお伝えします。コンサートをより深くお楽しみいただける貴重なひとときです。ぜひお早めにご来場いただきご参加ください。

日程 | 11月8日(日)13:15~13:45

会場 | 久美浜公会堂

講師 | 清水陽太(弦楽器製作者 マスター・ヴァイオリンメーカー、関西弦楽器製作者協会会長)

2000年に渡伊後、クレモナ、ジェノヴァにて弦楽器製作・修理・修復を学び、帰国。現在は京丹後市内で ShimizuYota 弦楽器工房/Atelier Diapason Kyoto を開設。弦楽四重奏楽器の製作・修理・修復・調整・販売を行う。

共催 | Music Fusion in Kyoto 音楽祭実行委員会